



令和7年4月10日



チームたかたく

「なかよく学び すすんで働こう」「希望・意欲・自立」

子どもの育成を目指して -0410 分校職員会議資料②-

～自分のできることで、まわりの人を笑顔にしよう!幸せにしよう!～

上松 武

□入学式を終えて

○「幸せな時間でした」～来賓からの感想でした!～

- ・入学式を終えて帰られる来賓が言った言葉でした。
- ・当校の生徒たちがほめられたことで、とてもうれしい気持ちになるとともに、入学式当日に外部の方にそう思わせる先生方の、生徒たちに対する熱い想いを感じました。
- ・そして、何がそう感じさせたのか、自分なりに考えてみました。

ーその子なりの振る舞いとして、一つ一つの所作が美しく見る人に映った。

ー環境が変わり、気持ちを新たに頑張ることが行動に表れていた。

- ・5月には、校内・現場実習がスタートします。このことは、事業所の方々が「お、白嶺の生徒、いいぞ」と思うポイントなのではないかと思いました。
- ・私たち職員は、生徒が他者からどう見られているかを意識して指導支援していかなければならないと考えています。
- ・そして、一緒にいて互いが幸せな時間を過ごせるように、心ひとつにして指導支援を行っていきましょう。

○学校あげての新入生の歓迎 ～生徒も職員も気持ちは一緒!～



- ・入学式受付脇の手作りの桜の木が、お祝いメッセージで満開でした。このメッセージも見る人を幸せな気持ちにさせます。
- ・年度初めにお話しした「心ひとつに」が**具体化**され、とてもうれしく思いました。今後も続けていきたい、とてもいい取組です。
- ・今年度の大きな学習活動、例えば、「校内・現場実習」が始まる時、お互いを気遣ったり励ましたりするメッセージを貼ってみる。終わった時に労いのメッセージを貼ってみるといった取組をしてみませんか。今よりも「一体感」が生まれるかもしれません。

□こういう人生を本校の生徒たちにも!

- ・朝新聞を読んでいたら、次ページの記事が目にとまりました。
- ・ご自身の経験から積極的に行動している方だな～と敬意を抱きながら読みました。当事者の声はとても大切ですし、いろいろと事を動かす力があります。

- ・当校の生徒が学校外に出掛ける機会がこれから増えると思います。その際に、生徒たちがまちの人に声を掛けるよう、私たち職員がつなぎ役をしましょう。
- ・そうすることで、まちの人は生徒を知ることになり、正しく関わることにつながっていきます。
- ・卒業した時に、この地域が生徒たちにとって少しでも暮らしやすくなっているために、今からまちの人たちと積極的に関わっていきませんか。

2025・4・5

ひと



スマホは唇で、キーボードは右手の中指で、マウスはあごで操作する。大好物のビールはストローで飲む。車いすに座って目尻にたっぷり笑いじわをたたえ、自分のことをこう言う。「おもしろか障害者やろっ？」

生まれたとき、脳性まひになった。地元特産の八女茶を売る実家に入りする客の顔と名前を覚えて驚かれた。両親が学校と掛け合い、幼稚園から大学まで障

脳性まひで身体障害者手帳1級の福岡県大牟田市副議長
ふるしゅう かずひで
古庄 和秀 さん(52)

害のない人と変わらぬ教育を受けた。大牟田市の職員になろうと考え、障害者枠の採用試験を受けた。面接で「電話しながらメモをとれますか」などと言われ、不採用に。6年ほど地元を離れて就職支援施設で過ごし、まちづくりを手伝わないかと声がかかって地元に戻った。

車いすの市議の後を継ぎ、2003年に30歳で初当選して6期目。23年には車いす利用者として全国で初めて副議長になった。障害がある議員らでつくる全国組織の事務局長も務める。

「障害の有無によって、教育が、仕事、人生が、分けられる」。何らかの障害がある人の割合は9%、議員だと0.1%。障害のある人がいない議場で、多くの制度はつくられる。

重度障害者の入院時に洗濯や買い物を支援する制度などを訴え、実現してきた。「当事者が政治に参加することが重要。多様ななき議会では、多様なある社会は実現しえない」。やさしい瞳の眼光は時折鋭い。

文・写真 川村まら

↑ R70405 朝日新聞より引用